

科目名		海外研修							年度	2024
英語科目名		Overseas Training							学期	通年
学科・学年	コンサート・イベント 科 1 年次		必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	小山慶・島立麦人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌			教員の実務経験			実務経験の職種			
【 科目の目的】										
現地での生活を通じてプレゼンテーションやコミュニケーション力を向上させ、各地域の文化やエンタテインメントを直接体験し、知見を得る。エンタテインメント 業界において地域活性化やグローバルな活動に関する視座を養う。学科の特色に基づいた研修旅行を通じて、海外または国内でエンタテインメントについて学ぶ機会を提供する。										
【 科目の概要】										
学科の特色に基づいた研修旅行を実施し、海外または国内でエンタテインメントを学びます。										
【 到達目標】										
A 現地での生活を通じて、プレゼンテーションや、コミュニケーション力をつける。 B 各地域の文化やエンタテインメントを直接体験し、知見を得る。 C エンタテインメント 業界における地域活性化または、グローバルに活動する視座を得る。										
【 授業の注意点】										
研修に行く国の言葉を身につけるため、研修前から講義を実施する。これは、現地でのコミュニケーションを図るにあたり、出席は不可欠。また、研修旅行の工程においては時間厳守で遅刻は許されない。集団行動が多いので、規律を重視する。自由行動においても十分に注意して責任を持って安全に行動すること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	現地での生活を通じて、プレゼンテーションや、コミュニケーション力をつける			現地での生活を通じて、コミュニケーション力をつける			到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	各地域の文化やエンタテインメントを直接体験し、知見を得る			各地域の文化を直接体験し、知見を得る			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	エンタテインメント 業界における地域活性化または、グローバルに活動する視座を得る			グローバルに活動する視座を得る			到達目標Cについてさらなる努力が必要			
【 教科書】										
海外研修資料										
【 参考資料】										
特になし										
【 成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、事前研修の資料作成、当日のプレゼンテーションなどを総合的に判定。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		海外研修				年度	2024
英語表記						学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	研修案内の理解	1	ガイダンス受	研修の目的を理解	3	
			2	資料配布	ガイダンスの重要性を学ぶ		
			3	目的説明	参加意欲を高める		
2	プレゼン紹介	テーマ性説明	1	プレゼンの基礎	プレゼンの基礎を学ぶ	3	
			2	概要の理解	効果的な概要作成法を習得		
			3	テーマ選定	聴衆の興味を引く方法を学ぶ		
3	語学基礎	基礎力の向上	1	基本単語学習	基礎的な語学スキルを習得	3	
			2	文法練習1	文法の基本を理解する		
			3	リスニング1	簡単な会話ができる		
4	企画立案	企画構築	1	スライドの構成	プレゼンの構成を理解	3	
			2	内容整理	質問対応の準備をする		
			3	視覚効果学習	具体的な内容を絞り込む		
5	語学応用	応用力の向上	1	応用単語学習	中級の語学スキルを習得	3	
			2	文法練習2	多様な文法を使用できる		
			3	リスニング2	日常会話が流暢になる		
6	資料作成1	素材整理	1	資料の構成	効果的なスライドを作成	3	
			2	内容の深化	情報の整理と構造化を学ぶ		
			3	デザイン学習	視聴者の注目を集める技術を学ぶ		
7	語学実践	実践力の向上	1	発展単語学習	上級の語学スキルを習得	3	
			2	文法練習3	専門的な文法を理解する		
			3	リスニング3	複雑な文章が理解できる		
8	資料作成2	資料整形	1	スライドの仕上げ	情報の深堀りと配置を学ぶ	3	
			2	効果的ビジュアル	効果的なビジュアルを習得		
			3	フィードバック	聴衆とのコミュニケーションを強化		
9	模擬プレゼン	模倣練習	1	実際のシチュエーション	実際のシチュエーションを想定	3	
			2	役割分担	プレゼンの全体像を把握		
			3	問題点の確認	演出とタイミングを学ぶ		
10	最終練習	発表練習	1	実践的練習	実践を通じての練習をする	3	
			2	演出の追加	反応を予測してアジャスト		
			3	反応の予測	強みと弱みを自覚する		
11	現地実習1	実習初級	1	研修目的の理解	現地の文化や背景を学ぶ	3	
			2	研修計画確認	具体的な研修計画を作成		
			3	地域文化学習	地域との関わりを深める		
12	現地実習2	実習中級	1	研修の進行	実際の現地での実践をする	3	
			2	問題解決学習	現地の課題を発見する		
			3	地域交流計画	解決策を模索する		
13	現地応用	現地を想定する	1	研修の実践	現地の研修を最終評価	3	
			2	研修成果確認	取り組みの成果を共有		
			3	フィードバック2	次回への改善点を見つける		
14	総括	現地実習総評	1	研修の最終確認	研修全体を評価する	3	
			2	改善点検討	振り返りを行い学びを深め		
			3	結果の共有	次回研修の提案をする		
15	報告会	復習の実践	1	終了報告の作成	新たなテーマを探索する	3	
			2	結果の評価	次回研修へのモチベーション上げ		
			3	全体を振り返る	成功体験を共有する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							